



FY19 3Q 決算説明資料

2020年1月31日
東京特殊電線株式会社

1. サマリー	• • • • •	P.03
2. 配当金及び業績予想	• • • • •	P.09
3. 参考資料	• • • • •	P.11

① 損益計算書

(百万円、%)	FY18 3Q	FY19 3Q	増 減	増減率	増減要因
売上高	14,686	13,281	▲1,404	▲9.6	<p>売上原価率</p> <p>前年同期比 ▲1.4pt (75.6%→74.2%)</p> <p>過年度に発生した連結子会社での類焼による影響が解消された事、フィリピン新工場の本格稼働等により改善となった。</p> <p>法人税</p> <p>+87百万円 (▲369百万円→▲282百万円)</p> <p>法人税等調整額</p> <p>▲1百万円 (▲14百万円→▲16百万円)</p>
売上原価	11,107	9,857	▲1,249	▲11.3	
売上総利益	3,578	3,424	▲154	▲4.3	
販売費及び一般管理費	1,752	1,696	▲56	▲3.2	
営業利益	1,826	1,728	▲98	▲5.4	
(%)	12.4	13.0	+0.6 pt	—	
経常利益	1,881	1,763	▲117	▲6.3	
(%)	12.8	13.3	+0.5 pt	—	
税金等調整前当期純利益	1,955	1,716	▲238	▲12.2	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,489	1,375	▲114	▲7.7	
(%)	10.1	10.4	+0.2 pt	—	

② 売上高（連結）

- ・ 売上高は13,281百万円となり、前年同期比▲1,404百万円（▲9.6%）の減収となった。
- ・ 売上高増減に含まれる為替換算による影響額 ▲310百万円
（電線・ヒータ分野 ▲168百万円、デバイス分野 ▲141百万円）



構成比

電線・ヒータ分野

自動車向けシート用ヒータ線は堅調に推移した一方で、鉄道ケーブル及びパソコン等の電源トランスに使用される三層絶縁電線が低調となった為、前年同期比▲691百万円（▲7.5%）の8,537百万円となった。

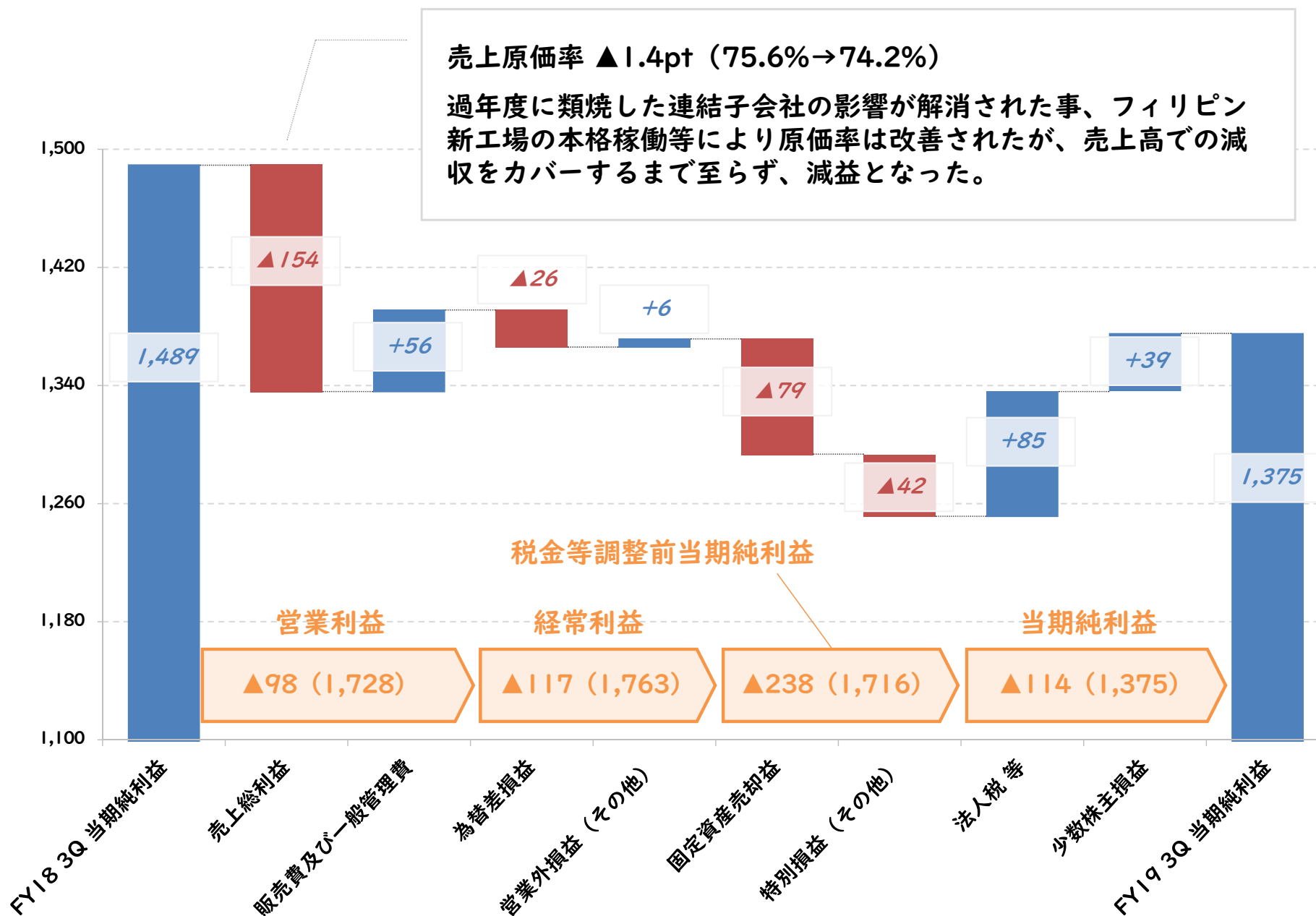


デバイス分野

前年同期で好調であった基板導通検査治具用のコンタクトプローブが不調となっている事や米中貿易摩擦により中国子会社の焼付線が減収となり、前年同期比▲690百万円（▲12.9%）の4,659百万円となった。

（百万円、%）	FY18 3Q	FY19 3Q	増 減	増減率
売上高（連結）	14,686	13,281	▲1,404	▲9.6
電線・ヒータ分野	9,228	8,537	▲691	▲7.5
デバイス分野	5,350	4,659	▲690	▲12.9
その他分野	107	84	▲22	▲20.9

③ 親会社株主に帰属する当期純利益変動要因（前年同期比）



④ 営業利益（連結）

- ・ 営業利益は1,728百万円となり、前年同期比▲98百万円（▲5.4%）の減益となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替換算による影響額 ▲29百万円
（電線・ヒータ分野 ▲15百万円、デバイス分野 ▲14百万円）



自動車向けシート用ヒータ線が堅調に推移した事や主要原材料である銅価格の低下に伴う利益の積み上げがあった一方で、売上高での減収が大きく影響し、前年同期比▲246百万円（▲17.7%）の1,148百万円となった。



本体のコンタクトプローブ、中国子会社の焼付線で減益となったものの、過年度に類焼した連結子会社の影響額が解消された事により前年同期比+119百万円の増益効果となった事、また、フィリピン新工場の本格稼働により操業が安定した事に伴う原価率の改善等により、前年同期比+158百万円（+29.9%）の増益となった。

（百万円、%）	FY18 3Q	FY19 3Q	増 減	増減率
営業利益（連結）	1,826	1,728	▲98	▲5.4
電線・ヒータ分野	1,395	1,148	▲246	▲17.7
デバイス分野	528	687	+158	+29.9
その他分野	▲98	▲108	▲9	—

⑤ 貸借対照表

(百万円、%)	FY18	FY19 3Q	増減	増減率
流動資産	13,292	13,691	+398	+3.0
現金及び預金 (※)	7,802	7,724	▲78	▲1.0
その他	5,489	5,967	+477	+8.7
固定資産	8,691	9,203	+512	+5.9
有形・無形固定資産	5,893	6,058	+165	+2.8
投資その他の資産	2,797	3,144	+346	+12.4
資産合計	21,984	22,894	+910	+4.1
流動負債	4,659	4,369	▲289	▲6.2
固定負債	4,044	3,815	▲228	▲5.6
負債合計	8,703	8,185	▲517	▲6.0
(うち、有利子負債)	2,587	2,487	▲99	▲3.9
株主資本	12,659	13,722	+1,062	+8.4
その他	620	986	+366	+59.0
純資産合計	13,280	14,708	+1,428	+10.8
負債純資産合計	21,984	22,894	+910	+4.1
自己資本比率	57.2	61.3	+4.0 pt	—
Net Cash	5,215	5,236	+21	+0.4

流動資産 (その他)

売掛債権 +549百万円
棚卸資産 ▲83百万円 等

有形・無形固定資産

設備投資 +866百万円
減価償却費 ▲551百万円
固定資産除売却 ▲13百万円
その他 ▲137百万円

投資その他の資産

投資有価証券 +699百万円 等

流動負債

未払費用 ▲200百万円
未払法人税等 ▲116百万円 等

株主資本

資本剰余金 +94百万円
利益剰余金 +967百万円

1. サマリー	P.03
2. 配当金及び業績予想	P.09
3. 参考資料	P.11

⑥ 配当金及び業績予想

- ・ FY19の年間配当金は60.0円／株を予定（中間配当金 30.0円／株、期末配当金 30.0円／株）
- ・ 2020年3月期 通期業績予想につきましては、最近の業績の動向などを踏まえ、2019年10月31日に公表しました予想を修正しております。修正後の業績予想は、下表の通りとなります。

配当金（円、銭）	中 間	期 末	合 計	総額（百万円）	配当性向（%）
FY18	30.0	30.0	60.0	407	22.0
FY19	30.0	—	—	—	—
FY19（予想）	—	30.0	60.0	—	30.2

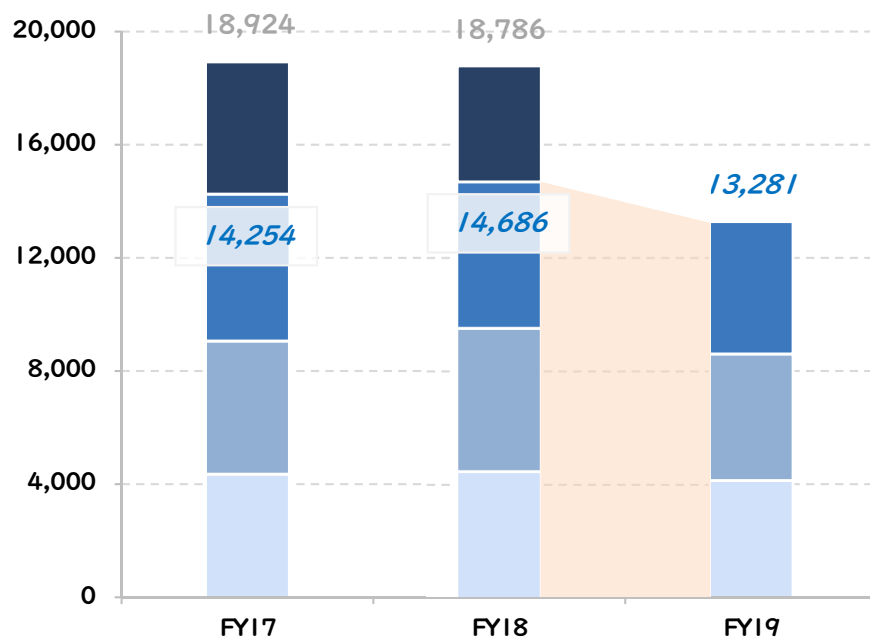
業績予想（百万円）	FY18 実績	前回予想 (a)	今回予想 (b)	増 減 (b-a)	増減率（%）
売上高	18,786	16,800	17,500	+700	+4.2
営業利益	2,113	1,730	2,000	+270	+15.6
経常利益	2,176	1,720	2,040	+320	+18.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,851	1,200	1,350	+150	+12.5

1. サマリー	P.03
2. 配当金及び業績予想	P.09
3. 参考資料	P.11

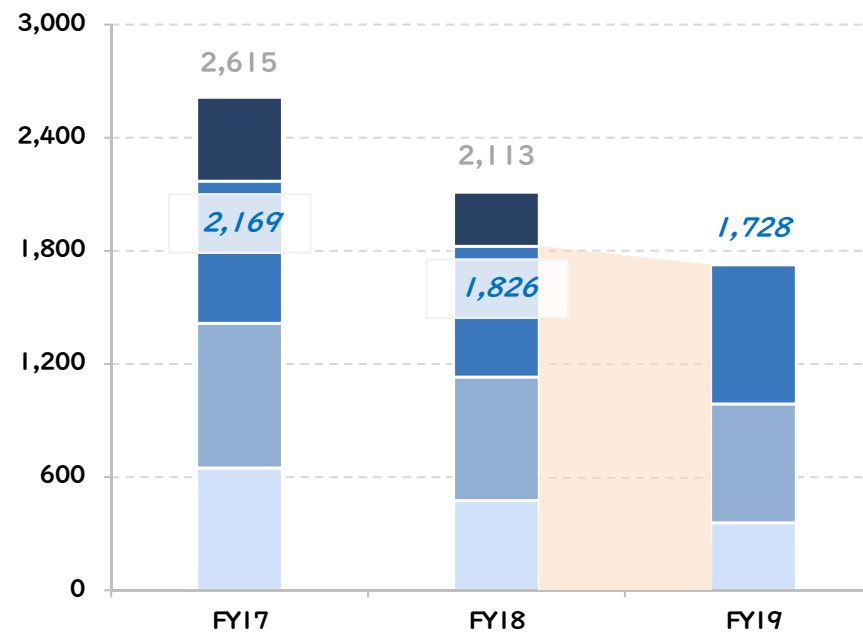
⑦ 分野別概況（連結）

- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)



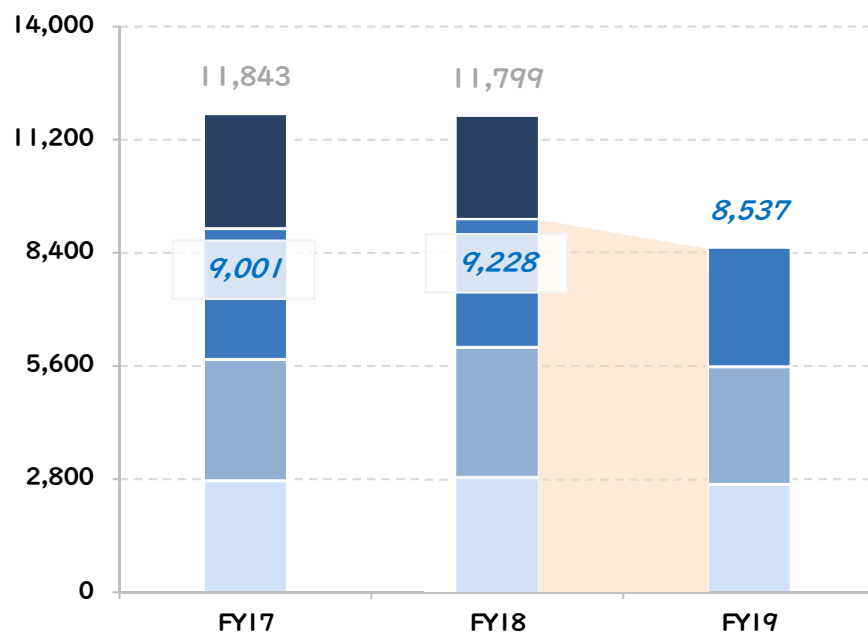
営業利益 (百万円)



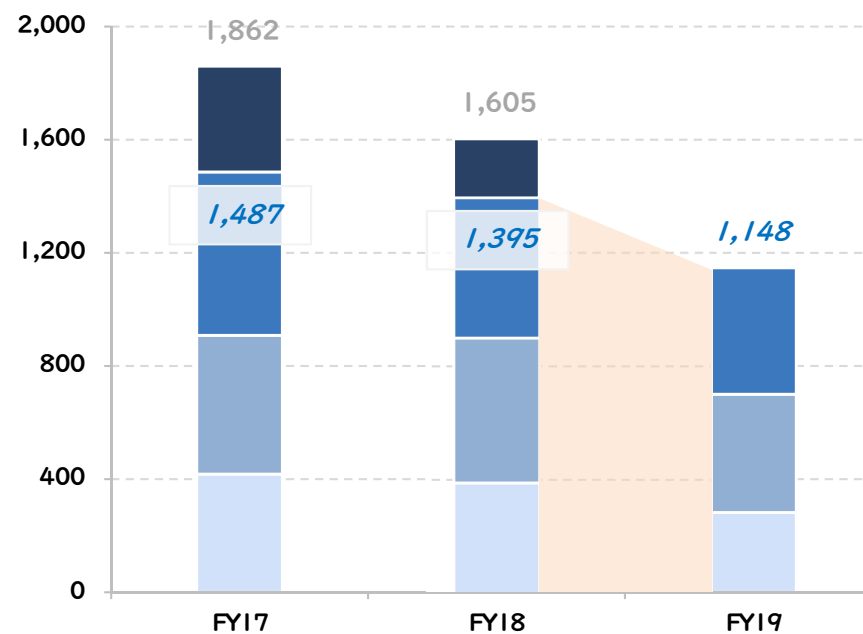
⑧ 分野別概況（電線・ヒータ分野）

- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)



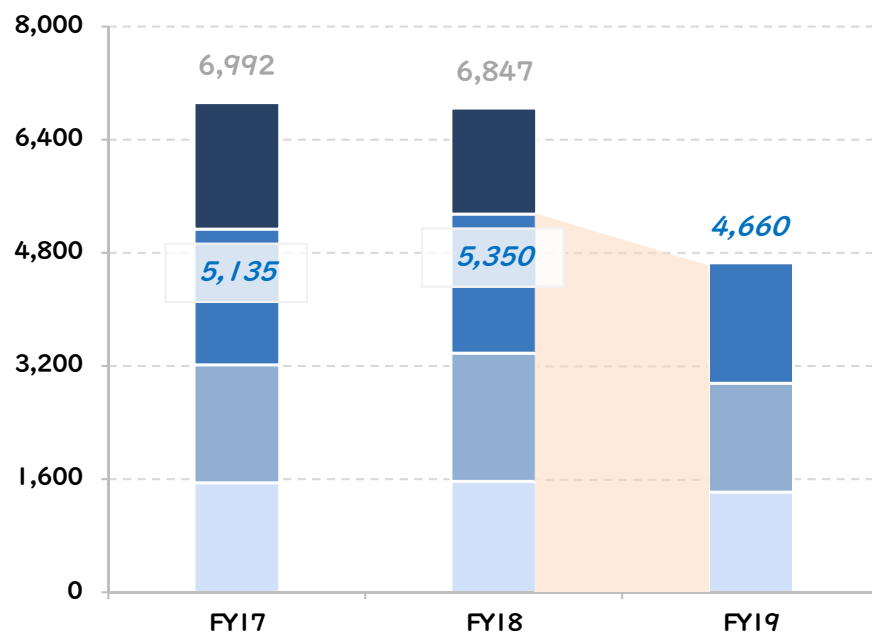
営業利益 (百万円)



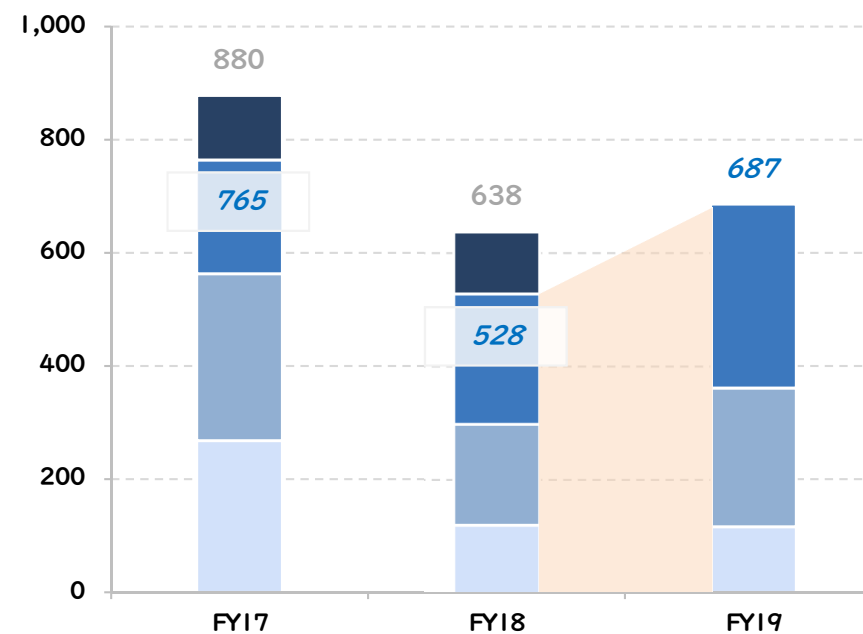
⑨ 分野別概況（デバイス分野）

- ・ 分野毎の増減説明につきましては、P.4及びP.6をご参照下さい。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

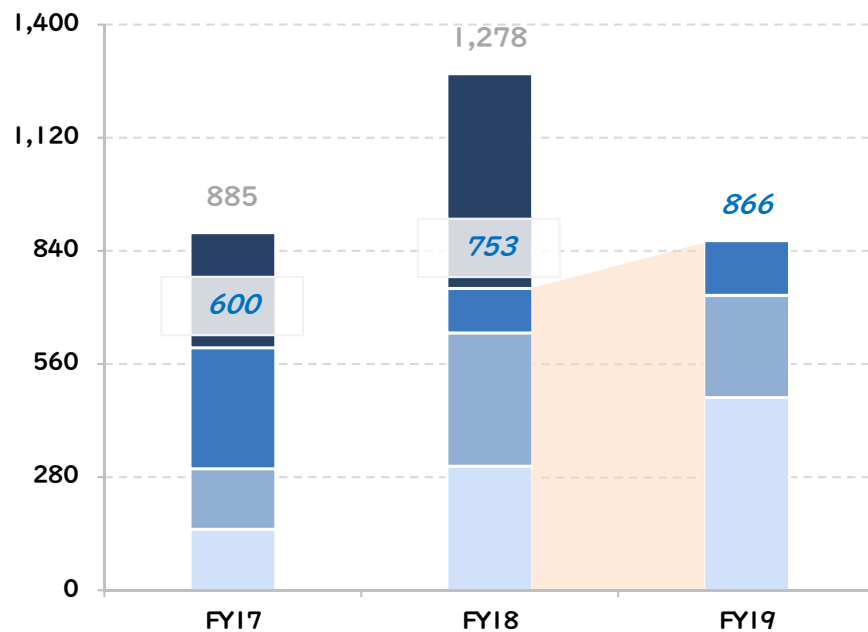


⑩ 設備投資、研究開発費

- ・ 設備投資は主に本体での生産設備（電線、デバイス等）の増加、また、廃液処理施設の更新等に伴い、前年同期比+113百万円（本体 +277百万円、連結子会社 ▲164百万円）の866百万円となった。
- ・ 減価償却費は前年同期比+67百万円の551百万円となっている。
- ・ 研究開発費については主に本体にて増加となった為、前年同期比+4百万円の185百万円となった。

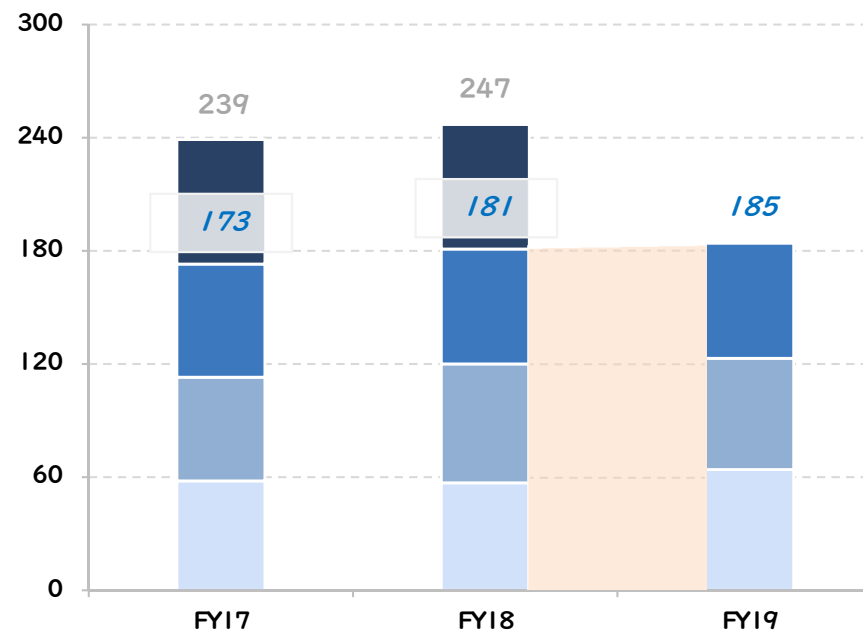
設備投資

(百万円)



研究開発費

(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。